

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	営業スキル		
必修選択	選択	(学則表記)	営業スキル		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	プレステップ マーケティング<新版>		出版社	弘文堂	

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界のマーケティング戦略について理解を深める。		
到達目標	マーケティング理論について学び、各企業の事例を通じて理解する。 ワークを通じて、自分だったらどのような戦略を立てるのか、を考えることができる。		
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大内 智博	実務経験	○
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・第 1 章	教員の自己紹介、授業の流れ、評価基準について。第 1 章 売れる仕掛けのつくりかた
2	第 2 章・第 3 章	第 2 章 誰に買ってもらいたいのか、第 3 章市場での位置を決め、顧客ニーズをつかめ
3	第 4 章・第 5 章	第 4 章 売れる商品はここが違う、第 5 章 価格設定のマジックを知ろう
4	第 6 章・第 7 章	第 6 章 なぜ、その店で売ってもらえるのか、第 7 章 テレビ広告か折り込みチラシか
5	第 8 章・第 9 章	第 8 章 花王のヘルシア緑茶はなぜ売れたのか、第 9 章 ライバルに勝ち、業界で生き残れ！
6	第 10 章・第 11 章	第 10 章 私たちの買い物に何が影響を与えているの？、第 11 章 インターネットでの売り方の特徴は？

7	第 1 2 章・第 1 3 章	第 1 2 章 モノとサービス、売り方はどう違う？、第 1 3 章 公正な競争はルールあってこそ
8	第 1 4 章	第 1 4 章 社会への還元が利益を生む時代へ、グループワーク
9	グループワーク	グループワークで商品を提案し発表準備
10	グループワーク	グループワークで商品を提案し発表準備
11	グループワーク	グループワークで商品を提案し発表準備
12	グループワーク	グループワークで商品を提案し発表準備
13	グループワーク	グループワークで商品を提案し発表準備
14	発表	グループワーク発表
15	テスト・振り返り	テストを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	Career Support Book 2025			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度 30 % ・ 提出物 30 % ・ テスト 40 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
4	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
5	グループディスカッション③	同上
6	面接練習①	面接の重要性・質問を理解する WEB 面接の重要性・質問を理解する

7	面接練習②	模擬面接を行う
8	面接練習③	同上
9	面接練習④	模擬面接を行う
10	社会で求められる人材について①	SANKO ワークコンピテンスの社会で求められる人材について理解する
11	社会で求められる人材について②	同上
12	社会で求められる人材について③	同上
13	振り返り	就職活動・面接のポイントを振り返る
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡ B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	Career Support Book 2025			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。				
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 提出物 3 0 % ・ テスト 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡ A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	T o D o リスト作成について	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ

6	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
7	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
8	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
9	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
10	人間関係構築力について②	同上
11	内定先への目標設定	内定を頂いている企業様にどのような目標を持って働くのか考える
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光総合探求		
必修選択	選択	(学則表記)	観光総合探求		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光分野で学んだ知識と技術を活用し、成果物の作成および発表を行う				
到達目標	観光分野で学んだ知識・技能を統合し、成果物として形にすることができる				
評価基準	授業態度：30％ 提出物：20％ 発表：50％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標・成績評価について
2	オリエンテーション	探求テーマ例紹介・グループ編成
3	テーマ設定①	グループ毎に調査計画立案①
4	テーマ設定②	グループ毎に調査計画立案②
5	フィールドワーク①	フィールドワーク①（大通公園等）
6	フィールドワーク②	フィールドワーク②

7	フィールドワーク③	フィールドワーク③
8	フィールドワーク④	フィールドワーク④
9	制作①	成果物制作①
10	制作②	成果物制作②
11	制作③	発表準備①
12	制作④	発表準備②
13	発表①	最終発表①
14	発表②	最終発表②
15	総まとめ	学んだことのまとめ・振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術		出版社	アルク	
	TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
2	オリエンテーション	自己紹介、TOEIC について、到達目標について
3	1 日目	Part2-1~3 リスニング問題/応答問題
4	同上	同上
5	2 日目	Part2-4~6 リスニング問題/応答問題
6	同上	同上

7	3 日目	Part5-1~4 ライティング/ 短文穴埋め問題
8	同上	同上
9	4 日目	Part5-5~8 ライティング/ 短文穴埋め問題
10	同上	同上
11	過去問 1①	模擬試験
12	解答解説①	模擬試験
13	前期テスト	前期テスト実施
14	過去問②	模擬試験
15	解答解説②	解答解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集			出版社	旺文社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、実用英語検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子			実務経験	○
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、英検について、到達目標について
2	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
3	DAY1	筆記・解説
4	同上	ライティング・解説
5	同上	リスニング・解説
6	同上	復習テスト①

7	DAY2	筆記・解説
8	同上	ライティング・解説
9	DAY 2	復習テスト②
10	DAY3	リスニング・解説
11	同上	復習テスト③
12	前期テスト	前期テスト
13	模試	模試試験
14	同上	模試試験
15	解答解説	解答解説

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術		出版社	アルク	
	TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅡA、				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	前期の振り返り
2	5 日目	Part6-1~5 長文穴埋め問題
3	同上	復習問題
4	6 日目	Part3-1~4 会話問題
5	同上	復習問題
6	7 日目	Part3-5~8 会話問題

7	同上	復習問題
8	8 日目	Part4-1~6 説明文問題
9	8 日目	復習問題
10	9 日目	Part71-7 読解問題
11	同上	復習問題
12	10 日目	Part7-8~10 読解問題
13	11 日目	復習問題/Part5
14	後期テスト	後期テスト実施
15	振り返り	全パート振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集			出版社	旺文社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30 %、小テスト 30 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、実用英語検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子			実務経験	○
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期で行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	DAY7	筆記 & リスニング対策
3	DAY7	筆記 & リスニング対策
4	過去問④	模擬試験
5	解答解説④	解答解説
6	過去問⑤	模擬試験

7	解答解説⑤	解答解説
8	過去問⑥	模擬試験
9	解答解説⑥	解答解説
10	後期テスト	後期テスト実施
11	リスニング対策	模擬試験
12	過去問⑦	模擬試験
13	解答解説⑦	解答解説
14	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策
15	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フードマイスターA		
必修選択	選択	(学則表記)	フードマイスターA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	公式テキスト「北海道産食材ハンドブック」		出版社	(一社)北海道商工会議所連合会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道の食材を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。				
到達目標	北海道の食材を理解し北海道フードマイスター検定合格を目指す。				
評価基準	授業態度 50% テスト 50%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道フードマイスター検定				
関連科目	北海道観光マスター検定				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章北海道の食材生産事情	基礎知識・北海道フードマイスター検定とは、第 1 章北海道の食材生産事情
2	第 2 章北海道の食材	米・畑作物
3	第 2 章北海道の食材	野菜類
4	第 2 章北海道の食材	野菜類
5	第 2 章北海道の食材	野菜類
6	第 2 章北海道の食材	野菜類

7	第2章北海道の食材	野菜類
8	第2章北海道の食材	野菜類
9	第2章北海道の食材	野菜類
10	第2章北海道の食材	果実類
11	第2章北海道の食材	きのこ・山菜類
12	第2章北海道の食材	藻類・魚介類
13	第2章北海道の食材	藻類・魚介類
14	定期試験	定期試験
15	前期まとめ	前期まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フードマイスターB		
必修選択	選択	(学則表記)	フードマイスターB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	公式テキスト「北海道産食材ハンドブック」		出版社	(一社)北海道商工会議所連合会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道の食材を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。				
到達目標	北海道の食材を理解し北海道フードマイスター検定合格を目指す。				
評価基準	授業態度 50% テスト 50%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道観光マスター検定				
関連科目	観光総合知識 A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期振り返り	前期学んだ科目の振り返り
2	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類
3	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類
4	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類
5	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類
6	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類

7	第 2 章北海道の食材	藻類・魚介類
8	第 2 章北海道の食材	肉・卵・乳製品
9	第 3 章食品の成分と栄養	食品の成分と栄養
10	検定対策	北海道フードマイスター検定対策
11	検定対策	北海道フードマイスター検定対策
12	検定対策	北海道フードマイスター検定対策
13	検定対策	北海道フードマイスター検定対策
14	定期試験	定期試験
15	総まとめ・振り返り	試験の振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ユニバーサルサービス		
必修選択	選択	(学則表記)	ユニバーサルサービス		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	様々な身体の特長を持つ方を知り、体験を通し、幅のあるサービスができるようになる。		
到達目標	障害や、加齢、妊娠などによる身体の変化を知り、体験をすることで、どのような方にも快適なサービスが提供できるようになる。		
評価基準	授業態度 6 0 % 実技試験 4 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	河合 静香	実務経験	○
実務内容	大学病院にて看護師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 人の命とは？	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 人間が産まれてくる過程を理解し、命の尊さをする。
2	同上	同上
3	人が育つということ。	妊娠してから成長するまでどのような過程があるのか。妊婦体験。
4	同上	同上
5	障害とは？	障害とは、どんなことを言うのか？理解する。
6	同上	同上

7	耳が聴こえない世界	耳が聴こえない体験を通じて難聴がある方への介入方法をする。
8	同上	同上
9	目が見えないとは？	目が見えない体験を通し、視力障害があるかたへの介入をする。
10	同上	同上
11	四肢障害	車イスを使った実習
12	同上	同上
13	体験を通して	体験を通して、様々な身体の特長を持った方への介入方法を考える。
14	同上	同上
15	体験を通して	ホテルや空港で起きやすい事象と、その対応方法を考える。
16	同上	同上
17	体験を通して	これまでの振り返り。
18	同上	同上
19	高齢者とは？	高齢者の身体的特長を知る。
20	同上	同上
21	高齢者への関わり	高齢者の身体的特長を理解した上での介入の方法とは？
22	同上	同上
23	外国人観光客への対応	日本語が伝わらない方に、どのようなサービスができるのか考えてみる。
24	同上	同上
25	外国人観光客への対応	外国人への、対応、サービスの実践。

26	同上	同上
27	総復習	今までの総復習
28	同上	同上
29	まとめ	学んだことのまとめ、振り返り。
30	同上	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客中国語 A		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客中国語 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	4 行会話で即効！すぐに話せる中国語入門		出版社	朝日出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	中国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる				
到達目標	中国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる 発音の基礎を学び、自信を持って検定に臨める能力を養う				
評価基準	小テスト・期末テスト:40% 提出物:30% 授業態度・出席:30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	中国語検定 HSK				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	張 阿金		実務経験	○	
実務内容	大学にて中国語講師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標等について
2	発音編	中国語発音
3	同上	同上
4	1 課 2 課 自己紹介 身分と名前 専攻	A 篇 人称代名詞・是構文・疑問文について
5	同上	B 篇 名前の言い方・相手の名前の尋ね方・初対面の挨拶
6	3 課 家族を紹介する	A 篇 場所代名詞・所在を表す有・存在を表す有

7	同上	B 篇 量詞・所有を表す有
8	4 課 時間と経験	A 篇 年月日、曜日の言い方・就～了
9	同上	B 篇 経験を表す过・連動文
10	5 課 学校生活	A 篇 時刻の言い方・時間量の言い方
11	同上	B 篇 形容詞述語分・前置詞在
12	6 課 買い物	A 篇 方向の位置を表す方向詞・助動詞想
13	同上	B 篇 数量を尋ねる多少と几・値段の聞き方・選択疑問文
14	単語リスト	中国語単語を習得
15	前期末試験	テストを実施する（筆記、聴解、会話）

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客中国語 B		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客中国語 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	4 行会話で即効！すぐに話せる中国語入門			出版社	朝日出版社
科目の基礎情報②					
授業のねらい	中国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる				
到達目標	発音の基礎を学び、自信を持って検定に臨める能力を養う				
評価基準	小テスト・期末テスト:40% 提出物:30% 授業態度・出席:30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	中国語検定 HSK				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	張 阿金			実務経験	○
実務内容	大学にて中国語講師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	7 課 状況を尋ねる	A 篇 事柄の発生、状態の変化を表す了・動詞の完了を表す了・動詞の重ね型
2	同上	B 篇 進行表現・持続表現・様態補語 喜欢
3	8 課 趣味と料理	A 篇 喜欢・助動詞能
4	同上	B 篇 二重目的語・助動詞会・助動詞可似
5	9 課 天気と気候	A 篇 存限文・可能性を表す会
6	同上	B 篇 主述述語文・比較表現比

7	10 課 週末の外出	A 篇 打算・結果補語
8	同上	B 篇 前置詞从、前置詞到・前置詞离・要の使い方
9	11 課 病気の時に	A 篇 是～的構文・有点儿と一点儿
10	同上	B 篇 使役文让・助動詞得
11	12 課 お別れの時に	A 篇 方向補語・前置詞给
12	同上	B 篇 把構文・副詞再
13	試験対策	模擬試験
14	同上	同上
15	課外授業	中国文化を理解する

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客韓国語 A		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客韓国語 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ペウギ 5 級		出版社	ハングル能力検定協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	韓国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる				
到達目標	ハングル能力検定 5 級合格を目指す				
評価基準	筆記テスト:50％ 小テスト:30％ 授業態度・出席:20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ハングル能力検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション～1 課	授業の流れ、韓国語の必要性、到達目標等について ・韓国（語）についての意識調査 ・ハングルを読んでみよう！（基本的なハングルの仕組み/基本母音）
2	2 課～4 課	文字と発音（基本母音・合成母音）/ 濁音化（有声音化）について / 漢数詞（月・日にち）
3	5 課 ～7 課	文字と発音（パッチムと終声）/ ㄲ, ㅋ, ㅌ, ㄴ, ㄹ, ㄷ, ㄹ, ㄹ의 発音ルール/連音化（一つのパッチム単語・二つのパッチム単語）/鼻音化
4	8 課～10 課	8 課「～は～ですか？」 9 課「～します」「합니다体」の現在形の作り方 10 課「～が～です」/ 濃音化ルールについて
5	11 課～13 課	11 課「～をします」「～が好きですか？」 12 課 ㅎの脱落と弱化/母音ㅏの縮約化 13 課 助詞の組み合わせと해요体

6	14 課～16 課	14 課 尊敬語の習得 15 課 「私の～」 「～では、ありません」 16 課 ハングルのこ・そ・あ・ど (1) / 尊敬形の文末表現/ 「～なさいます」
7	17 課～19 課	17 課 「～しません/～くありません」 18 課 5 W 1 H 疑問詞 19 課 ハングルのこ・そ・あ・ど (2) / 漢字語数詞につく助数詞
8	20 課～22 課	20 課 存在詞「ある」「ない」 / ㄹ (リウル) 脱落 21 課 1～20 までの固有語数詞 22 課 位置の 表し方
9	23 課～25 課	23 課 激音化について/ 「上手だ」「できない」 24 課 「～してください」/ いろいろな「どうぞ」 25 課 「～にしましょうか」 「～でしょうか？」
10	26 課～28 課	26 課 過去形「～でした」 27 課 하다用言の過去形/ 「まだ～してません」 28 課 「～して、～ で」「～として」等
11	29 課～31 課	29 課 「～したい」「～より」 30 課 鼻音化ルール/ 「～できない」 31 課 으語幹用言/ 「わかり ません」
12	32 課～34 課	32 課 「～ですよ」 33 課 「～するつもり」/ 「わかりました」 34 課 尊敬語/ 「～ですが」
13	35 課～36 課	35 課 表現を丁寧にする「～ですか？」 36 課 あらたまった文章/ 接続語・「～のようだ」
14	総まとめ / テスト	総まとめ / 試験を実施する (筆記、聴解、音読)
15	総まとめ	解答解説 / 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	インバウンド接客韓国語 B		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客韓国語 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ペウギ 5 級			出版社	ハングル能力検定協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	韓国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる				
到達目標	発音の基礎を学び、自信を持って検定に臨める能力を養う				
評価基準	小テスト・期末テスト:40% 提出物:30% 授業態度・出席:30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ハングル能力検定 5 級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	復習・必要用語単語の学習	前期までの復習及び後期開催の試験に向けて必須の語彙やフレーズを学習する
2	模擬試験	模擬試験を実施し、理解度の把握と、弱点を克服する
3	模擬試験	模擬試験を実施し、理解度の把握と、弱点を克服する
4	模擬試験	模擬試験を実施し、理解度の把握と、弱点を克服する
5	模擬試験	模擬試験を実施し、理解度の把握と、弱点を克服する
6	試験の振り返りと自己評価	試験問題の簡単な解説・自己評価・今後の授業について

7	会話練習～基本的な日常表現～	“自己紹介”“買い物”などの基本表現練習
8	リスニング強化～聞き取り練習～	韓国語の簡単な会話音声や短い文章を聞いて質問に答える練習をする/音声聞きながら書き取り練習
9	作文～基礎的な文章の作成～	季節に合わせた内容で簡単な作文を書き、アウトプットすることで定着を図る
10	異文化理解～韓国の生活と文化～	韓国の食文化・挨拶などについての紹介/日本と韓国の違いについてディスカッションし、異文化を理解する
11	会話練習～旅行や観光の場面～	ホテル予約・道案内などをロールプレイングで応用力を強化していく
12	リスニング&スピーキング実践	韓国語の簡単なインタビューを作成し、ペアで練習する
13	作文・異文化理解	韓国の好きな文化について各グループで調べ、発表する
14	期末試験	総復習として筆記試験・リスニング試験を行う
15	期末試験解説・振り返り	試験問題の簡単な解説・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光英会話ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ツアーコンダクターの英語		出版社	J T B 総合研究所	

科目の基礎情報②

授業のねらい	添乗業務のシチュエーション別実践英会話を学ぶ		
到達目標	添乗英語の特徴と英語が必要な場面を理解し簡単な会話ができる		
評価基準	授業態度 50% 小テスト 50%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	みんなの外国語検定・TOEIC・実用英語検定		
関連科目	英語検定対策ⅡA.B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy Lewis	実務経験	○
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ到着目標について
2	Lesson 1 In the Airplane	機内で
3	同上	Plus supplement
4	Lesson 2 Arrival at the airport	空港到着
5	同上	Plus supplement
6	Lesson 3 At the Hotel	ホテル 1

7	同上	Plus supplement／テスト
8	Lesson 4 Hotel 2	ホテル 2
9	Lesson 4 Hotel 2	Plus supplement
10	Lesson 5 Free Activities 1	予約、自由行動など
11	同上	Plus supplement ／ テスト
12	Lesson 6 Free Activities 2	バス、写真など
13	同上	Plus supplement
14	Lesson 7 At the Restaurant	注文、メニューなど
15	同上	Plus supplement／テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光英会話ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ツアーコンダクターの英語		出版社	J T B 総合研究所	

科目の基礎情報②

授業のねらい	添乗業務のシチュエーション別実践英会話を学ぶ		
到達目標	添乗英語の特徴と英語が必要な場面を理解し簡単な会話ができる		
評価基準	授業態度 50% 小テスト 50%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	みんなの外国語検定・TOEIC・実用英語検定		
関連科目	英語検定対策ⅡA.B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy Lewis	実務経験	○
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Sightseeing and Technical Visit	観光通訳ガイドなど
2	同上	Plus supplement
3	Troubles and Accidents	事項処理など
4	同上	Plus supplement／テスト
5	Returning Trip	現地への移動と帰国
6	同上	Plus supplement

7	資料 1	身体の部分
8	同上	Plus supplement
9	資料 2	病気や怪我への対応
10	同上	Plus supplement／テスト
11	資料 3	空港などの施設表示の読み方
12	同上	Plus supplement
13	資料 4	旅行英語の用語集
14	同上	Plus supplement／テスト
15	まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光英会話ⅡC		
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話ⅡC		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	即戦力がつくビジネス英会話		出版社	アルク	

科目の基礎情報②

授業のねらい	TOEIC で身に着けた知識を活かし会話でコミュニケーションがとれるようになる		
到達目標	英検・TOEIC で身に着けた単語・文法・読解を会話へ繋げられる様にする。 TOEIC Speaking & Writing を受験できるように、座学のみでなく、ワークを取り入れ、発言力を身に着ける。		
評価基準	授業態度 50% 小テスト 30% 実技テスト 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	観光英語検定・TOEIC・実用英語検定		
関連科目	英語検定対策Ⅱ A.B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy Lewis	実務経験	○
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ到着目標について
2	Chapter1	スモールトークをこなす(1)
3	同上	スモールトークをこなす(2)
4	同上	食事に誘う、会食する
5	同上	出退勤時のあいさつ

6	Chapter2	アポイントの段取り
7	同上	電話での対応
8	同上	クレームとその処理
9	同上	面接への対応
10	小テスト	実技小テスト
11	Chapter3	依頼と指示
12	同上	説明と見直し/イニシアティブの発揮
13	同上	組織内での情報伝達
14	同上	リスク管理
15	テスト	Plus supplement／テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光英会話 II D		
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話 II D		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	即戦力がつくビジネス英会話		出版社	アルク	

科目の基礎情報②

授業のねらい	英検・TOEIC で身に着けた知識を活かし会話でコミュニケーションがとれるようになる		
到達目標	英検・TOEIC で身に着けた単語・文法・読解を会話へ繋げられる様にする。 TOEIC Speaking & Writing を受験できるように、座学のみでなく、ワークを取り入れ、発言力を身に着ける。		
評価基準	授業態度 50% 小テスト 30% 実技テスト 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	みんなの外国語検定・TOEIC・実用英語検定		
関連科目	英語検定対策ⅡA.B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy Lewis	実務経験	○
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	今まで学習したことの復習
2	Chapter4	会議の開始
3	同上	討議に入る
4	同上	賛成と反対
5	同上	会議の終了

6	Chapter5	段取りの決定と条件提示
7	同上	互いの主張を明確にする
8	同上	合意への障害を取り除く
9	同上	妥協点を見いだす
10	小テスト	実技小テスト
11	Chapter6	プレゼンテーション入門
12	同上	小規模なプレゼンテーション
13	同上	大規模なプレゼンテーション(1)(2)
14	同上	プロフェッショナルなプレゼンテーション
15	テスト	Plus supplement／テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プレゼンテーション A		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	はじめての PowerPoint2024			出版社	秀和システム

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人として必要な PowerPoint の知識とプレゼンテーションスキルを習得する				
到達目標	パワーポイントを使用した実践的なプレゼンテーションができることができる				
評価基準	プレゼンテーション：40% 提出物：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本操作	授業の流れ、到達目標について、PowerPoint とは PowerPoint
2	同上	同上
3	PowerPoint の基本操作	PowerPoint の基本操作を学ぶ
4	プレゼンテーションの作成	新しいプレゼンテーションを作成する
5	同上	同上
6	プレゼンテーションの編集	プレゼンテーションの様々な編集について学ぶ

7	同上	同上
8	作品作成	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備
9	作品作成	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備
10	同上	同上
11	上手なプレゼンとは	上手な発表の方法と評価について学ぶ
12	同上	同上
13	発表	プレゼンテーションの発表会の実施
14	同上	同上
15	総まとめ	プレゼンテーションの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プレゼンテーション B		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	はじめての PowerPoint2024			出版社	秀和システム

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人として必要な PowerPoint の知識とプレゼンテーションスキルを習得する				
到達目標	パワーポイントを使用した実践的なプレゼンテーションができることができる				
評価基準	プレゼンテーション：40% 提出物：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	PowerPoint の応用操作	PowerPoint の応用操作を学ぶ
2	同上	同上
3	同上	同上
4	同上	同上
5	作品作成	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備
6	同上	同上

7	同上	同上
8	同上	同上
9	作品作成	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備
10	同上	同上
11	同上	同上
12	コンペティション	コンペティションの実施
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総まとめ	プレゼンテーションの振り返りと総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ホテルマネジメント A		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルマネジメント A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	ホテル・マネジメント教本		出版社	一般社団法人日本宿泊産業マネジメント協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ホテルマネジメント技能検定に合格し、マネジメントの観点からホテルを理解する。 また、実技授業を通して実践的な知識・技術を習得し企業が求める即戦力となる人材を目指す				
到達目標	・マネジメントを意識して働くことの重要性に気付く ・マネジメントの観点からホテルを理解する ・サービス面ばかりでなくマネジメントの面からも毎日の業務を考えることが出来る ・実習授業を通し、サービス技術を体得し、即戦力となる人材になる				
評価基準	・筆記テスト 3 0 % ・実技テスト 3 0 % ・小テスト 2 0 % ・授業態度 ・提出物 2 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ホテルマネジメント技能検定				
関連科目	ホテル実務実習、ホテルマネジメント B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大内 智博		実務経験	○	
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方と検定概要 1 年時の復習
2	業務運営管理 2 - 3	宴会サービスの業務と要求される能力の理解
3	業務運営管理 2 - 4	営業 ・ マーケティング職種の業務と要求される能力の理解
4	業務運営管理 2 - 5	施設管理職種の業務と要求される能力の理解

5	業務運営管理 2 - 6	危機管理職種の業務と要求される能力の理解
6	業務運営管理 2 - 7	経営管理職種の業務と要求される能力の理解
7	ホテル法務知識	ホテル法務知識の概要演習
8	購買管理 ・ 人材マネジメント	購買管理の概要理解 ・ 人材マネジメントの概要理解
9	定期テスト	定期テストの実施
10	検定直前対策	過去問等を使用し、直前対策を実施
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	同上	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ホテルマネジメント B		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルマネジメント B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエトラベル科	2	30
使用教材	ホテル・マネジメント教本		出版社	一般社団法人日本宿泊産業マネジメント協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ホテルマネジメント技能検定 3 級に合格し、マネジメントの観点からホテルを理解する。 また、実技授業を通して実践的な知識・技術を習得し企業が求める即戦力となる人材を目指す				
到達目標	・ マネジメントを意識して働くことの重要性に気付く ・ マネジメントの観点からホテルを理解する ・ サービス面ばかりでなくマネジメントの面からも毎日の業務を考えることが出来る ・ 実習授業を通し、サービス技術を体得し、即戦力となる人材になる				
評価基準	・ 筆記テスト 3 0 % ・ 実技テスト 3 0 % ・ 小テスト 2 0 % ・ 授業態度 ・ 提出物 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ホテルマネジメント技能検定				
関連科目	ホテル実務実習、ホテルマネジメント A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大内 智博		実務経験	○	
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方と実技試験の概要と特徴について
2	マネジャー業務	マネジャーに求められる能力の理解
3	ホテルの会計の概要①	ホテルの会計の概要の理解 (1)
4	ホテルの会計の概要②	ホテルの会計の概要の理解 (2)

5	ホテル・マーケティング	ホテル・マーケティング概要演習
6	検定直前対策	過去問等を使用し、直前対策を実施
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	ベル業務実習	応用的なベル業務について学ぶ
11	フロント業務実習	応用的なフロント業務について学ぶ
12	同上	同上
13	客室業務実習	応用的な客室業務について学ぶ
14	定期テスト	テストの実施
15	総括	訪日外国人の動向・ホテル業界の今後について学ぶ。

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして			出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 学科試験合格を目標として、 ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	検定合格 40% 各章のまとめ 20% × 2 授業態度 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策 1 レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌			実務経験	○
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 模擬試験	授業のルール・成績評価説明 模擬試験を実施する
2	宴会とレストランサービス 5	プロトコール、配席のルール、国旗掲揚について
3	食文化	食の禁忌・食文化とテーブルマナーについて
4	まとめ	演習問題を実施する

5	施設管理 苦情対応と遺失物の取り扱い	ホテル設備と防災・苦情対応について
6	食品衛生及び公衆衛生	食品衛生法の定義と目的、食中毒の分類と特徴について
7	食品衛生及び公衆衛生	食品衛生法と公衆衛生について
8	安全衛生	労働安全衛生法と労働基準法について
9	まとめ	演習問題を実施する
10	検定対策 1	検定試験に向けて対策を行う
11	検定対策 2	検定試験に向けて対策を行う
12	検定対策 3	検定試験に向けて対策を行う
13	検定対策 4	検定試験に向けて対策を行う
14	検定対策 5	検定試験に向けて対策を行う
15	検定対策 6	検定試験に向けて総まとめの対策を行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エンターテイメント演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エンターテイメント演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	HBA オフィシャルバーテンダーズブック		出版社	(一社)日本ホテルバーメンズ協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ホテルバーについての基礎知識を学ぶ				
到達目標	各酒の基礎知識が身についている 各酒の種類の概要について、説明することができる				
評価基準	実技：60％ 授業態度：40％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基		実務経験	○	
実務内容	ハイブランドホテル「アマン東京」にて料飲部門にて勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、成績評価について 1 年生後期の振り返り
2	婚礼サービス	婚礼サービスについて学ぶ
3	婚礼サービス	ブライダルアテンド
4	ホテルでのアクティビティ	リゾートホテルや高級ホテルでのアクティビティについて学ぶ
5	ホテルでのアクティビティ	リゾートホテルや高級ホテルでのアクティビティについて学ぶ・実践

6	北海道・札幌の歴史	北海道・札幌の歴史について学ぶ
7	同上	同上
8	カクテル	コンペティションへ向けての準備
9	同上	同上
10	カクテル	コンペティションへ向けての準備
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	コンペティション	カクテルコンペティション実施
15	総まとめ	今までの総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	日本文化演習 A		
必修選択	選択	(学則表記)	日本文化演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	日本文化を学び・体験することでホテルに来る観光客をもてなせるようになる。				
到達目標	日本文化を学び・体験し、観光客に伝えられるようになる。				
評価基準	授業態度：5 0 % 提出物・発表：3 0 % テスト：2 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者”				
関連資格					
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ、レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ、エンターテインメント演習Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	黒田 留己乃		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、日本文化とは
2	節句	節句について学ぶ
3	折り紙	折り紙について学ぶ
4	華道	華道について学ぶ
5	宗教	宗教・LGBTQ について学ぶ

6	課題学習	よさこいソーラン祭り見学
7	宗教・LGBTQ	宗教・LGBTQ について学ぶ
8	宗教	宗教・LGBTQ 発表
9	七夕	七夕について学ぶ
10	着物・浴衣の歴史	着物・浴衣の歴史について学ぶ
11	浴衣演習	浴衣演習
12	浴衣演習	浴衣演習
13	お祭り	日本各地のお祭りについて
14	検定学科対策	学科試験対策に取り組む
15	まとめ	学科試験の振り返りと前期まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	日本文化演習 B		
必修選択	選択	(学則表記)	日本文化演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本文化を学び・体験することでホテルに来る観光客をもてなせるようになる。				
到達目標	日本文化を学び・体験し、観光客に伝えられるようになる。				
評価基準	授業態度：50% 提出物・発表：30% テスト：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者”				
関連資格					
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	黒田 留己乃			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	前期振り返り
2	節句	節句について学ぶ
3	節句	節句について学ぶ
4	茶道	茶道について学ぶ
5	茶道	茶道について学ぶ

6	茶道	茶道について学ぶ
7	クリスマス・お正月	世界各国のクリスマスについて・年賀状
8	日本の昔遊び	日本の昔遊び
9	書道	書道
10	グループワーク	グループワーク
11	グループワーク	グループワーク
12	グループワーク	グループワーク
13	発表	グループ発表
14	定期試験	定期試験
15	課外授業	さっぽろ雪祭り見学

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル			出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定実技試験受験に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する		
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、 ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる		
評価基準	検定学科合否 20%・まとめ実践 20%×2・評価シート 20%・授業態度 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者”		
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級		
関連科目	レストランサービス検定対策 1・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	山本 悠介	実務経験	○
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー経験を経て、現在札幌市内ホテルレストランマネージャーに従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション サーバーの使い方	授業の流れ、到達目標について サーバーの使い方を知る
2	朝食のサービス	朝食におけるサービスを行う
3	ランチタイムの サービス 1	ランチタイムのテーブルサービスを行う
4	ディナータイムの サービス 1	ディナータイムのサービスをおこなう

5	まとめ	学んだことを実践する
6	検定実技 シミュレーション 1	過去の課題をテーマにチャレンジ
7	検定実技 シミュレーション 2	過去の課題をテーマにチャレンジ
8	検定実技 シミュレーション 3	過去の課題をテーマにタイムトライアル 1
9	検定実技 シミュレーション 4	過去の課題をテーマにチャレンジ
10	検定実技 シミュレーション 5	過去の課題をテーマにチャレンジ
11	検定実技 シミュレーション 6	過去の課題をテーマにタイムトライアル 2
12	検定実技 シミュレーション 7	過去の課題をテーマにチャレンジ
13	検定実技トライアル 総合実践確認	総合的な実践を踏まえた確認と復習
14	検定学科対策	学科試験対策に取り組む
15	まとめ	学科試験の振り返りと前期まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定実技試験受験に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、 ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	検定実技合否 20%・まとめ実践 20%×3・授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者”				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策 1・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山本 悠介		実務経験	○	
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー経験を経て、現在札幌市内ホテルレストランマネージャーに従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	国家試験 レストランサービス 実技試験対策	本年度課題に取り組む
2	同上	本年度課題に取り組む
3	同上	本年度課題に取り組む
4	同上	本年度課題に取り組む

5	同上	本年度課題に取り組む
6	テーブルマナー	大人の食卓マナーを学ぶ
7	ワイン抜栓と テイスティングの知識	ワインの取り扱いとワインサービスマナーを学ぶ
8	オリジナルカクテル 創作法 1	①カクテルを創作する手順を学ぶ
9	オリジナルカクテル 創作法 2	ノンアルコールカクテルをイメージし試作する
10	オリジナルカクテル 創作法 3	オリジナルノンアルコールカクテルを完成させる
11	カクテルコンテスト (まとめ実践)	実践する
12	オレンジのカービング	オレンジのカービングを行う
13	フレーミング デザート 1	フレーミングデザートを作る
14	フレーミング デザート 2	フレーミングデザートを作る
15	まとめ	学んだことを実践する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	国内地理 II		
必修選択	選択	(学則表記)	国内地理 II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 1 観光地理<国内・海外> 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国内観光地理および資源における必要な知識について学ぶ。		
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す		
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	JR 運賃計算Ⅱ、旅行業法Ⅱ、旅行業約款Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	濱中 淳子	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、日本の地理における一般常識、到達目標について
2	山岳・峠・渓谷・瀧・鍾乳洞	区域の概要、観光資源について学ぶ。
3	高原・湿原・湖・沼・池・河川	区域の概要、観光資源について学ぶ。
4	岬・半島・海岸・砂丘・島	区域の概要、観光資源について学ぶ。
5	温泉	区域の概要、観光資源について学ぶ。

6	神社・寺院・庭園	区域の概要、観光資源について学ぶ。
7	美術館・博物館・文学館・記念館	区域の概要、観光資源について学ぶ。
8	テーマパーク	区域の概要、観光資源について学ぶ。
9	祭り・年中行事	区域の概要、観光資源について学ぶ。
10	城・城跡・日本の世界遺産	区域の概要、観光資源について学ぶ。
11	国立公園・国定公園	区域の概要、観光資源について学ぶ。
12	文化財	区域の概要、観光資源について学ぶ。
13	定期テスト	カテゴリー別観光資源の総合テスト
14	国家試験 最終対策	過去の試験問題等による総合テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	J R 運賃計算 II		
必修選択	選択	(学則表記)	J R 運賃計算 II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 3 国内旅行実務 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JRをはじめとする各種交通機関の運賃料金、宿泊料金を理解する		
到達目標	国内旅行業務取扱管理者合格を目指す		
評価基準	模擬試験：40％ 小テスト：30％ 提出物：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	国内地理Ⅱ、旅行業法Ⅱ、旅行表約款Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 3 部 貸切バス・フェリー	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 貸切バスの運賃・料金等
2	第 3 部 貸切バス・フェリー	フェリーの運賃・料金等
3	第四部 宿泊	宿泊の概要/宿泊料金等
4	第四部 宿泊	変更・取り消し・払い戻し
5	総合まとめ	過去問を解く 解答・解説
6	総合まとめ	過去問を解く 解答・解説

7	総合まとめ	第四章 料金（乗継割引/北陸新幹線の取り扱い/東海道・山陽・九州新幹線の取り扱い等）
8	模擬試験①	模擬試験を実施
9	同上	解答・解説
10	模擬試験②	模擬試験を実施
11	同上	解答・解説
12	模擬試験③	模擬試験を実施
13	同上	解答・解説
14	模擬試験④	模擬試験を実施
15	同上	解答・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	旅行業法Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業法Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	標準トレーニング問題集 2 旅行業法・約款 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業に関する法制度を理解し体得する。 旅行業等を営む者にとって遵守すべき事柄を規定した法律であることを理解しつつ、目的やそれらを達成する為に設けられた制度と旅行実務についての知識を深める。		
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験における「旅行業法」において合格ラインレベル以上を身につける。 旅行業法及びこれに基づく法令を理解し、観光業界就職を目指す原動力とする。		
評価基準	テスト：40％ 過去問・模擬試験：30％ 授業態度・小テスト：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	JR 運賃計算Ⅱ、国内地理Ⅱ、旅行業約款Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1 年次の習熟度テスト	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 1 年次の習熟度テスト
2	旅行業法第3章①	旅行業協会について
3	旅行業法第3章②	弁済業務保証金制度について
4	旅行業法第4章 雑則	雑則
5	旅行業法第5章 罰則	罰則

6	旅行業法第 5 章 その他関連法規	景表法、消費者契約法、個人情報保護法の概要、習熟度テスト
7	テスト	テスト実施
8	テスト解説 傾向と対策の実践	前回テストの解説と練習問題等にて傾向と対策の実践
9	模擬試験第 1 回目	検定試験に向けての対策を行う
10	模擬試験第 1 回目解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
11	模擬試験第 2 回目	検定試験に向けての対策を行う
12	模擬試験第 2 回目解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
13	模擬試験第 3 回目	検定試験に向けての対策を行う
14	模擬試験第 3 回目解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
15	過去問演習	過去問にて総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	旅行業約款Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業約款Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	標準トレーニング問題集 2 旅行業法・約款 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者合格を目指し、必要な知識を身につける		
到達目標	国内旅行業務取扱管理者資格 合格		
評価基準	テスト：40％ 過去問・模擬試験：30％ 授業態度・小テスト：30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	JR 運賃計算Ⅱ、国内地理Ⅱ、旅行業法Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	濱中 淳子	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3 部 手配旅行契約 ①	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 第 1 章 総則
2	3 部 手配旅行契約 ②	第 2 章 契約の成立
3	3 部 手配旅行契約 ③	第 3 章 契約の変更及び解除
4	3 部 手配旅行契約 ④	第 4 章 旅行代金
5	3 部 手配旅行契約 ⑤	第 5 章 団体・グループ手配

6	3 部 手配旅行契約 ⑥	第 6 章 責任
7	3 部 手配旅行契約 ⑦ 理解度チェック	第 7 章 営業保証金・弁済業務保証金 理解度チェック
8	4 部 旅行相談契約	旅行相談契約について
9	5 部 渡航手続き代行契約	渡航手続き代行契約について
10	テスト	テスト実施
11	テスト解説 傾向と対策の実践	前回テストの解説と練習問題等にて傾向と対策の実践
12	模擬試験	検定試験に向けての対策を行う
13	模擬試験 解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
14	過去問演習	過去問にて総復習
15	過去問演習	過去問にて総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ツアーデスク・カウンター実務		
必修選択	選択	(学則表記)	ツアーデスク・カウンター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエトラベル科	1	30
使用教材	講師作成プリントや旅行パンフレット			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	旅行業への理解を深める				
到達目標	旅行会社勤務に必要な知識やテクニックを学ぶ				
評価基準	提出物や課題：70% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	旅行業法Ⅰ・Ⅱ、旅行業約款Ⅰ・Ⅱ、JR 運賃計算Ⅰ・Ⅱ、国内地理Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合			実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	宿泊施設知識	北海道内各地宿泊施設の特徴をつかむ
3	国内旅行カウンター販売知識	募集型企画旅行商品の販売
4	国内旅行カウンター販売知識	募集型企画旅行商品の販売
5	パンフレットについて	国内パンフレットの見方を学ぶ
6	パンフレットについて	海外パンフレットの見方を学ぶ

7	国内旅行カウンター販売知識	最終のご案内・お得意様づくりについて
8	販売のロールプレイング	カウンタートークを実践
9	販売促進 POP について	POP の基本について学ぶ
10	POP 作成	旅行テーマを決め、POP を作成してみよう
11	POP 作成	旅行テーマを決め、POP を作成してみよう
12	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地を調べる
13	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる
14	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる/発表
15	まとめ	チェックテスト/まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ツアーコンダクター実務		
必修選択	選択	(学則表記)	ツアーコンダクター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・ 旅程管理者としての基本を学びながら、国内・海外添乗の実務を学ぶ。				
到達目標	・ ツアーコンダクター・ガイドとして活躍できるレベルへの到達				
評価基準	・ テスト：50％ 提出物・実地訓練：30％ 小テスト：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者・国内旅程管理主任者				
関連科目	旅行業法Ⅰ・Ⅱ、旅行業約款Ⅰ・Ⅱ、JR 運賃計算Ⅰ・Ⅱ、国内地理Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子			実務経験	○
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ツアーコンダクターの基本	授業のねらい・到達目標・成績評価について 旅行の種類と旅程管理の関係について理解する。
2	ツアーコンダクターの役割、 留意点	企画旅行が負う業務とツアーコンダクターの役割
3	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	日帰りツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
4	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	宿泊ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
5	実務の練習・訓練	添乗業務に必要なトーク練習。自分らしさを踏まえた挨拶の練習

6	国内ツアーコンダクター基礎知識	宿泊・鉄道・航空の実務を理解する。
7	国内ツアーコンダクター基礎知識	貸切バス・観光・食事関係の実務を理解する。
8	実地研修	観光地におけるツアーコンダクター実務の実地研修（外）
9	テスト	国内ツアーコンダクター実務のテスト実施
10	海外ツアーコンダクター基礎知識	国内旅行と海外旅行の違いとツアーコンダクター業務の違いを理解する
11	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（手配、宿泊、航空、鉄道、貸し切りバス）
12	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（トランスファーとミーティングスタッフ、観光、食事）
13	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（出入国手続き、外国語等）
14	海外ツアーの流れとツアーコンダクターの業務	海外ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
15	事故とトラブルへの対応 テスト	未然防止や処理・報告・保険関係について テスト まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	北海道プロモーション制作		
必修選択	選択	(学則表記)	北海道プロモーション制作		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道を訪れるお客様へ楽しんでもらえるプロモーション制作の技術を習得する				
到達目標	北海道を訪れるお客様へ楽しんでもらえるプロモーション制作が出来る				
評価基準	作成物 40% レポート 30% 授業態度 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	北海道アクティビティ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合		実務経験	○	
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、北海道観光現状について
2	北海道の食	北海道グルメについて
3	調査①	店舗調査の実施と資料集め
4	調査②	店舗調査の実施と資料集め
5	調査③	店舗調査の実施と資料集め
6	PR バンフレット製作①	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成

7	PR パンフレット製作②	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成
8	PR パンフレット製作③	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成
9	SNS 告知	イベント告知・集客方法
10	PR 実践①	市内ホテルに冊子を配布
11	PR 実践②	市内ホテルに冊子を配布
12	PR 実践③	雪まつり会場にて冊子配り
13	PR 実践④	雪まつり会場にて冊子配り
14	結果分析	PR による集客状況を分析する
15	まとめと総括	総復習 今後の北海道観光についてのディスカッションの実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	北海道アクティビティ		
必修選択	選択	(学則表記)	北海道アクティビティ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材			出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道のアクティビティを体験し、北海道観光を理解し、業界就職後の業務に活かす				
到達目標	北海道のアクティビティを体験し、北海道観光を理解することが出来る				
評価基準	アクティビティ体験レポート 40％ 小テスト 20％ 発表態度 20％ 授業態度 20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	北海道プロモーション製作				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、北海道観光現状について
2	北海道アクティビティ①	北海道のアクティビティについて
3	北海道アクティビティ②	ラフティング体験
4	北海道アクティビティ③	ラフティング体験
5	北海道アクティビティ④	ラフティングについてレポート作成
6	研究発表	研究発表

7	北海道の温泉①	北海道の温泉地と温泉の効能等について
8	北海道の温泉②	小テスト実施 自分が勧めたい北海道の温泉地のまとめと発表
9	スノーアクティビティ 1	冬季の北海道のアクティビティについて
10	スノーアクティビティ 2	スノーシューを体験
11	スノーアクティビティ 3	スノーシューを体験
12	スノーアクティビティ 4	ワカサギ釣り体験
13	スノーアクティビティ 3	ワカサギ釣り体験
14	スノーアクティビティ 4	冬季の北海道のアクティビティについてレポート作成 お客様へアクティビティをご案内するロールプレイの実施
15	まとめと総括	総復習 今後の北海道観光についてのディスカッションの実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第2版 講師作成資料			出版社	晃洋書房

科目の基礎情報②

授業のねらい	海外の主要な航空会社と空港のレターコードなどエアライン業務の基礎知識と空港業務の他職種についての基礎知識を習得する。				
到達目標	海外の主要空港と航空会社の2レター、3レターを覚えている。エアライン業務の基礎知識と空港業務の他職種の業務内容について理解し説明することができる				
評価基準	テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20% (意欲・態度 30%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	空港カウンター演習ⅡA				
備考					
担当教員	亀倉 麻紀子			実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	航空機メーカーと機種①	航空機のメーカーと機種について学ぶ
3	航空機メーカーと機種②	航空機のメーカーと機種について学ぶ
4	航空会社の経営計画	航空会社の経営計画とコードシェア、アライアンスについて学ぶ
5	海外のエアライン	海外の主要な航空会社の2レター、3レターについて学ぶ

6	航空会社の商品	航空会社の商品特性
7	海外の空港①	海外の主要な空港の 3 レターについて学ぶ
8	海外の空港②	海外の主要な空港の 3 レターについて学ぶ
9	イレギュラーハンドリング	イレギュラーの種類と会社都合、不可抗力について学ぶ
10	運送約款	国内運送約款と国際運送約款について学ぶ
11	クレーム対応	クレームについての理解を深め、対応のポイントを学ぶ
12	運航乗務員	運航乗務員（パイロット）の業務内容について学ぶ
13	航空機整備	エアライン整備の概要及び整備の基礎について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第2版 講師作成資料		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	航空機の機種やメカニズムについての知識を習得する。また、航空輸送の安全と航空保安について学び、安全の重要性を理解し、安全に対する高い意識を醸成する。		
到達目標	航空機の機種やメカニズムを理解し説明することができる。過去の事例から安全の重要性を理解し、高い意識を持つことができる。		
評価基準	テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20%（意欲・態度 30%）		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	空港カウンター演習ⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	亀倉 麻紀子	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 航空業界の最近の話題	航空業界の最近の話題について学ぶ
2	航空機の基本構造①	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
3	航空機の基本構造②	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
4	飛行のメカニズム	飛行の原理について学ぶ
5	航空気象	離着陸に及ぼす気象条件について学ぶ

6	航空会社の安全管理	「安全」及び安全管理について学ぶ
7	航空輸送の安全①	航空輸送の安全について学ぶ
8	航空輸送の安全②	JL123 便の事故について学ぶ
9	航空保安①	保安対策基準の脅威レベルについて学ぶ 空港のセキュリティ対策について学ぶ
10	航空保安②	アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ
11	航空保安③	全日空ハイジャック事件について学ぶ
12	エアライン業界の今後	エアライン業界の今後について学ぶ
13	各単元振り返り	各単元のまとめ、振り返りを行う。
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアライン面接対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン面接対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	CA GS エアライン受験対策 書き込み式テキスト		出版社	ベンコム出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを体得する				
到達目標	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを身に付ける				
評価基準	意欲・態度：60％ 提出物：40％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 美香	実務経験		○	
実務内容	大手航空会社にて客室乗務員・グランドスタッフとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第 8 章	オリエンテーション
2	同上	面接練習①
3	同上	面接練習②
4	第 9 章	グループディスカッション
5	同上	同上
6	同上	グループワーク

7	同上	同上
8	第8章	面接練習①
9	第8章	面接練習②
10	同上	面接練習③
11	第9章	グループディスカッション
12	同上	同上
13	同上	グループワーク
14	同上	同上
15	まとめ・振り返り	振り返り、今後のスケジュール立て

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サービス介助士		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス介助士		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	サービス介助士資格取得講座テキスト			出版社	日本ケアフィット 共育機構

科目の基礎情報②

授業のねらい	航空会社スタッフとして必要なおもてなしの心と介護技術を学ぶ 日系航空会社で資格取得に取り組んでいる「サービス介助士」の資格取得を目指す		
到達目標	ご高齢の客様や介助の必要お客様に対して自信をもって接客できる 個々のお客様に合った接客サービスを考え提供することが出来る サービス介助士資格の取得		
評価基準	定期試験４０％ 授業態度３０％ 小テスト３０％		
認定条件	・ 出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・ 成績評価が２以上の者		
関連資格	サービス介助士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 障がい者差別解消法	サービス介助論について、サービス介助士の必要性 超高齢化社会の現状 障がい者差別解消法について
2	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源とホスピタリティについて ホスピタリティ体験についてディスカッション
3	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションについて 障がいの種類について 事前課題の取り組み
4	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気 事前課題の取り組み

5	ジェントロジー	ジェントロジーとは 将来について考察 事前課題への取り組み
6	接遇	サービス介助士としての接遇 事前課題への取り組み
7	障がい者への理解と介助 (車いす使用者)	車椅子使用者への理解と介助方法 車いすの種類と操作上の注意点 事前課題への取り組み
8	障がい者への理解と介助 (視覚障がい者)	視覚障がい者への理解と誘導方法 点字や指文字 事前課題への取り組み
9	障がい者への理解と介助 (聴覚障がい者)	聴覚障がい者への理解 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法 事前課題への取り組み
10	障がい者への理解と介助 (知的障がい者・精神障がい者)	知的障がい・精神障害の定義と概要 知的障がい者・精神障がい者への介助方法 事前課題への取り組み
11	身体障がい者補助犬	身体障がい者補助犬についての理解と身体障がい者補助犬法 身体障がい者補助犬使用者への介助方法 事前課題への取り組み
12	ユニバーサルデザイン	バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン 身の回りにあるユニバーサルデザイン 事前課題への取り組み
13	試験	テストを実施
14	事前課題学習	事前課題の返却と復習 定期テストの返却・解答解説 事前課題の復讐を兼ねた小テスト
15	総括	総括 実技講習に向けて

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネート検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネート公式ワークブック		出版社	クリエスクール	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40％・提出物30％・授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大越 まさみ		実務経験	○	
実務内容	アパレル通信サイトにてカラーコーディネートやスタイリング業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて 色の性質①	・ パーソナルカラーの重要性を知る ・ 色の持つ性質や特徴を理解する
2	色の性質② 色の心理的効果	・ 有彩色と無彩色を理解する ・ 色の三属性を理解する ・ 色の心理的効果を理解する
3	色のトーン①	・ トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ
4	配色①	・ 配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・ 色相環・トーンを理解した上で配色を考える ・ イメージ配色の重要性を理解する

5	配色② 光の三要素 眼のしくみ	・和装の配色方法を学ぶ ・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
6	混色 対比・補色対比	・加法混色と減法混色を学ぶ ・対比・補色対比について学ぶ
7	色のトーン②	・トーンの4つのグループの特徴を理解する ・メイク・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
8	色のトーン③	・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
9	パーソナルカラー判定① 慣用色名	・パーソナルカラー判定の流れを知る ・4パターンファッションについて理解する ・慣用色名について学ぶ
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定②	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定③	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エアライン英会話Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン英会話Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	飛行機・空港の英会話		出版社	NOVA ホールディングス株式会社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	グランドスタッフとして働く上で外国のお客様に対応できる英語力を身に付ける。				
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。				
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン英会話Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Darcy Lewis		実務経験	○	
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	飛行機内①	席・機内アナウンスについて
3	飛行機内②	機内アナウンスについて②
4	飛行機内③	飲み物・機内食について
5	飛行機内④	入国・出国書類について
6	飛行機内⑤	具合が悪い人の対応について

7	飛行機内⑥	緊急時の対応について
8	入国時①	乗り継ぎについて
9	入国時②	入国審査について
10	入国時③	荷物受け取りについて
11	入国時④	税関申告について
12	入国時⑤	両替について
13	入国時⑥	タクシー・交通機関について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ANA グランドスタッフ入門 最新版			出版社	イカロス出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける				
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる				
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合ⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀倉 麻紀子			実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	カウンター業務・応用①	UMNR への対応
3	カウンター業務・応用②	乗り継ぎのあるお客様への対応
4	カウンター業務・応用③	超過手荷物の対応
5	カウンター業務・応用④	ペット受託
6	アナウンス実習①	アナウンス実習

7	アナウンス実習②	アナウンス実習
8	到着業務・応用①	到着時のイレギュラー対応
9	到着業務・応用②	到着時のイレギュラー対応
10	アナウンス実習③	到着時のアナウンス
11	アナウンス実習④	到着時のアナウンス
12	ケーススタディ①	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ②	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ANA グランドスタッフ入門 最新版			出版社	イカロス出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける				
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる				
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀倉 麻紀子			実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	特別旅客への対応①	特別旅客について
3	特別旅客への対応②	車椅子をご使用のお客様への対応
4	特別旅客への対応③	目の不自由なお客様への対応
5	特別旅客への対応④	耳の不自由なお客様への対応
6	特別旅客への対応⑤	お子様連れのお客様への対応

7	イレギュラー時の対応①	イレギュラー時の対応を学ぶ
8	イレギュラー時の対応②	イレギュラー時の対応を学ぶ
9	アナウンス実習③	イレギュラー時のアナウンス
10	アナウンス実習④	イレギュラー時のアナウンス
11	アナウンス実習⑤	イレギュラー時のアナウンス
12	ケーススタディ③	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ④	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	実技テスト	実技テスト実施
15	演習総まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	カルチャーレッスン		
必修選択	選択	(学則表記)	カルチャーレッスン		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	客室乗務員の業務に活かせる様々なスキルを身に付ける		
到達目標	客室乗務員の業務に活かせる様々なスキルを習得する		
評価基準	実技テスト 40％ レポート 40％ 授業・発表態度 30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	2008 年洞爺湖サミットにて各国首脳との接遇に従事。元客室乗務員。現在花教室主宰		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、北海道グルメについて
2	和食のマナー	和食のマナー①
3	和食のマナー	和食のマナー②
4	和食のマナー	会席料理について①
5	和食のマナー	会席料理について②
6	和食のマナー	会席料理について③、レポート作成

7	フラワーアレンジメント	ハーバリウム製作①
8	フラワーアレンジメント	ハーバリウム製作②
9	フラワーアレンジメント	ハーバリウム製作③、製作発表
10	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習①
11	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習②
12	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習③
13	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習④
14	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑤
15	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑥
16	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑦
17	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑧
18	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑨
19	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑩
20	ファーストエイドメソッド	救急員養成講習⑪
21	フラワーアレンジメント	クリスマスフラワー製作①
22	フラワーアレンジメント	クリスマスフラワー製作②
23	フラワーアレンジメント	クリスマスフラワー製作③、製作発表
24	アフタヌーンティーマナー	英国式テーブルマナー
25	アフタヌーンティーマナー	紅茶の歴史と茶葉の種類

26	アフタヌーンティーマナー	アフタヌーンティー実践①
27	アフタヌーンティーマナー	アフタヌーンティー実践②
28	アフタヌーンティーマナー	アフタヌーンティー実践③
29	アフタヌーンティーマナー	アフタヌーンティー実践④、レポート作成
30	総まとめ	総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	オーラルプレゼンテーション		
必修選択	選択	(学則表記)	オーラルプレゼンテーション		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ロジカルに伝わる英語プレゼンテーション		出版社	インプレス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語で論理的なプレゼンができるスキルを習得する		
到達目標	スライド作成・話し方・発音・Q&A を総合的に身につける 航空分野の内容を英語で説明できる		
評価基準	ミニプレゼン 20％ 最終プレゼン 30％ PPT・資料 20％ 授業・発表態度 30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岩淵 穂佳	実務経験	○
実務内容	海外ハイクラスホテルにて和食レストランスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 序章	授業の流れ、ねらいと到達目標について、学期の目標設定、良いプレゼンとは
2	Chapter 1（導入のロジック）	英語での導入（Introduction）の作り方
3	Chapter 2（主張の組み立て）	メインパートを論理的に構成する
4	Chapter 3（結論の作り方）	結論（Conclusion）で伝わるまとめ方
5	Chapter 4（わかりやすい英語の原則）	話し言葉としての英語：シンプルに話す
6	Chapter 5（スライドの原則）	スライドデザインの基本

7	Chapter 5（スライドの原則）	スライドデザイン実践②（図表・視覚要素）
8	Chapter 6（話し方）	発音・イントネーション①（聞きやすい英語）
9	Chapter 6（話し方）	発音・イントネーション②（説得力のある話し方）
10	Chapter 7（Q&A の基本）	Q&A（質疑応答）英語基礎
11	発表準備	発表準備：専門分野の語彙確認
12	ミニ英語プレゼン	ミニ英語プレゼン（3分）
13	リハーサル①	リハーサル①（構成と英語表現チェック）
14	リハーサル②	リハーサル②（本番形式）
15	最終英語プレゼン	最終英語プレゼン（3-5分）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	機内サービス演習ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	機内サービス演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	客室乗務員として即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける				
到達目標	客室乗務員としての基礎知識を身に付け、機内でのサービス業務や保安業務の応用動作が出来るようになる				
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合ⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沢田 泰弘			実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、搭乗中のサービス、ブランケット・新聞・雑誌のサービス
2	CA サービス業務①	揺れることが予想される際のサービス、キャンディサービス
3	CA サービス業務②	前回授業の実技チェックの実施、Baby Care
4	CA サービス業務③	ミールサービス①
5	CA サービス業務④	ミールサービス②
6	CA サービス業務⑤	ミールサービス③

7	実技テスト①	ミールサービス実技テスト
8	CA 保安業務①	セーフティデモンストレーションと着陸前安全確認①
9	CA 保安業務②	セーフティデモンストレーションと着陸前安全確認②
10	CA 保安業務③	保安業務小テスト、実技テスト
11	実技テスト②	保安業務実技テスト
12	アナウンス実習①	機内アナウンス実習①
13	アナウンス実習②	機内アナウンス実習②
14	実技テスト③	アナウンス実技テスト実施
15	総まとめ	半期の授業の総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	機内サービス演習ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	機内サービス演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	客室乗務員として即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける				
到達目標	客室乗務員としての基礎知識を身に付け、機内でのサービス業務や保安業務の基本動作が出来るようになる				
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沢田 泰弘			実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、特別旅客について
2	CA 保安業務①	小テスト実施、特別旅客の機内での対応①
3	CA 保安業務②	特別旅客の機内での対応①
4	CA 保安業務③	特別旅客の機内での対応①
5	実技テスト①	保安業務実技テスト
6	CA サービス業務①	ドリンク・軽食サービス①

7	CA サービス業務②	ドリンク・軽食サービス②
8	実技テスト	ドリンク・軽食サービス実技テスト
9	CA 保安業務④	緊急時の対応①
10	CA 保安業務⑤	緊急時の対応②
11	実技テスト②	保安業務小テスト・実技テスト
12	アナウンス実習①	機内アナウンス実習①
13	アナウンス実習②	機内アナウンス実習②
14	実技テスト③	アナウンス実技テスト実施
15	総まとめ	総合シミュレーション

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル航空観光スタッフ必要な社会人基礎力を身に付ける		
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる		
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉井 利基	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ホテル航空観光スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります